

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	公益社団法人鹿児島県歯科医師会立 鹿児島歯科学院専門学校
設置者名	伊地知 博史

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1
収支計算書又は損益計算書	http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1
財産目録	http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1
事業報告書	http://www.8020kda.jp/webpat/newsview.php?mode=d&aid=1202&cid=11&page=1
監事による監査報告（書）	「鹿児島県歯科医師会定時総会日程」へ掲載 ※閲覧方法・・・閲覧申請書の提出により可 (鹿児島県歯科医師会事務局内据え置き)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		専門課程	歯科衛生士科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3119 単位時間/単位	2013 単位時間/単位	単位時間/単位	1106 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3119 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		115 人	0 人	5 人	117 人	122 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）・授業計画（シラバス）の作成は、前年度中に各非常勤教員へ見直しや作成を依頼し、最終的には専任教員が集約し完成させている。各講師から頂いた授業計画は冊子にして、新入生が入学直後に配布し説明を行っている。歯科衛生士・歯科技工士の養成に関する指定規則をもとに、効果的な教育を行えるように、専任打合せ会、教務打合せ会、学校運営小委員会等の会議で検討し作成している。
成績評価の基準・方法
（概要）・前期試験および後期試験を実施し、100点満点の60点以上が合格で、合格者には単位を与えている。本試験不合格者には、再試験を実施し再試験も100点満点の60点以上が合格である。履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する方法を用いて、客観的な指標として設定している。前期および後期試験を2回実施しており、いずれも同様の方法を用いている。

卒業・進級の認定基準
(概要)・1月中旬頃に、非常勤教員を集めての教育会を開催し、成績や授業態度等について意見を貰い、最終的な卒業・進級の判定は校長が行う。
学修支援等
(概要)・欠席等があった場合は、定期試験前の放課後あるいは長期休暇を利用して、補習を行っている。また国家試験前は補講等を行っている。 実技面においては、放課後を利用して実技上達の為に支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	0人 (%)	44人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ・歯科医院			
(就職指導内容) ・求人票の見方、見学および面接時の挨拶の仕方など			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・歯科衛生士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	5人	3.75%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別面談の実施を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生 士科	200,000 円	400,000 円	130,000 円	
歯科技工 士科	400,000 円	550,000 円	1年次：250,000 円 2年次：300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.kdic.ac.jp/about		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
・歯科医療界の要求や時代の変化に対応できる学生を育てるために、教育目標や教育環境等についての自己評価の結果や学生の状況報告等に対して意見をいただき、より良い教育活動や学校運営の改善に活かしていく。委員会を構成する委員は、歯学教育に関する有識者、地元企業関係者、卒業生とし、校長が委嘱する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授	2020. 2. 6～2021. 3. 31	医歯学教育有識者
鹿児島大学歯学部名誉教授	2020. 2. 6～2021. 3. 31	歯学教育有識者
鹿児島県歯科用品商組合会長	2020. 2. 6～2021. 3. 31	関連企業
本校卒業生	2020. 2. 6～2021. 3. 31	本校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
http://www.kdic.ac.jp/about		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.kdic.ac.jp>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。